



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年6月24日

第20号

編集・発行：校長 上甲 尚

期末テスト終了！お疲れ様でした！

～今日からクラブ再開。3年生は引退まで頑張れ！～



期末テストが終わりました。皆さん、お疲れ様でした。今はホッとした気分でしょう。ゆっくり「のび」でもして、リラックスしてください。来週、答案が返ってきたら、間違った問題、わからなかった問題にもう一度トライしてみましょう。「ふり返り」「確認」をきちんと行うことが大切です。わからないことは遠慮なく先生方に聞いてください。

言うまでもないことですが、普段の授業が一番大切です。授業に集中し、家庭学習(宿題)をきちんとやること、これが基本、大前提です。地道にコツコツと勉強していきましょう。授業に集中できていない人は、これからしっかり勉強していきましょう。

「梅雨」に入り、蒸し暑い日々が続きます。体調管理に気を付けましょう。睡眠をきちんととり、水分を十分に補給し、バランスのよい食事をして、熱中症にならないように気を付けましょう。今日からクラブ活動が再開になりますが、久しぶりなので体調に気を付けながら活動しましょう。体調がすぐれない時、しんどい時は決して無理せず、すぐに顧問の先生に相談してください。

コロナ禍が長引き、練習(活動)も十分ではありませんが、3年生の皆さんにとっては、最後の公式戦(発表会等)が近づいてきています。最後の試合(発表会)でベストのパフォーマンスが発揮できるように、あと少しになった毎日の練習(活動)に精一杯、悔いのないよう全力で取り組んでください。いい練習(取り組み)なくしていい結果(成績)は望めません。楽をして実は取れません。クラブを引退する時に「3年間、いろいろあったけど、最後は頑張った」と胸を張って言えるように頑張ってください。目標を定めて、「自分のベスト」を尽くしてください。そして、一緒に頑張ってきた仲間と「最高の思い出」を作ってください。

今日の放課後は卒業アルバム用の「クラブ写真」の撮影があります。顧問の先生から連絡があったと思いますが、3年生の仲間とともにキリッとした凛々しい表情で撮影してもらってください。ちなみに私は中学時代、野球部でしたが、最後の夏の大阪大会(3回戦敗退)のことは47年経った今でも鮮明に覚えています。森ノ宮の日生球場で試合をしたこと(今はありません)、チャンスで凡退したこと、試合に負けて着替えながらチームメイトと悔し泣きしたこと、帰りの電車でみんな無言だったこと、クラブのない夏休みがやたら長く感じ、宿題がなかなか進まなかったこと…。今となっては本当にいい思い出です。

最後まで悔いのないよう頑張れ、3年生！ 応援していますよ！

沖縄慰霊の日 ～伝え継ぐこと、知ることが大切～



昨日、6月23日は「沖縄慰霊の日」でした。1945(昭和20)年6月23日、沖縄戦が終結した日とされ、沖縄戦で亡くられた人々を慰霊するために「沖縄全戦没者慰霊祭」がしめやかに行われました。コロナ禍で制限のある中ですが、ご遺族の方や関係者が参列して行われました。

日本で唯一の「地上戦」が行われた沖縄。多くの一般市民が巻き込まれ、約24万もの尊い命が失われました。「ひめゆり学徒隊」「集団自決」の話をはじめ、数え切れないぐらい悲しく、おどく、筆舌に尽くしがたい出来事があります。戦後77年経ち、沖縄戦を体験した人が少なくなるとともに、戦争が「遠い出来事」のようになりつつあります。しかし、世界に目を向けると、いまだに悲惨な戦争や紛争、内戦が絶えません。今こそ、「命」の尊さに思いをはせましょう。昨日、沖縄県糸満市で行われた追悼式で、小学2年生の女の子が自作の詩を読み上げました。皆さんに紹介します。

「こわいをして、へいわがわかった」

沖縄市立山内小学校2年 ○○○○

びじゅつかんへお出かけ おじいちゃんや おばあちゃんも
いっしょに みんなでお出かけ うれしいな
こわくてかなしい絵だった たくさんの人がしんでいた 小さな赤ちゃんや、おかあさん
風ぐるまや チョウチョの絵もあったけど とてもかなしい絵だった
おかあさんが、七十七年前のおきなわの絵だと言ったほんとうにあったことなのだ
たくさんの人たちがしんでいた ガイコツもあった
わたしとおなじ年の子どもが かなしそうに見ている
こわいよ かなしいよ かわいそうだよ
せんそうのはんたいはなに？ へいわ？ へいわってなに？
きゆうにこわくなって おかあさんにくっついた あたたかくてほっとした
これがへいわなのかな
おねえちゃんとけんかした おかあさんは、二人の話を聞いてくれた
そして仲なおり これがへいわなのかな
せんそうがこわいから へいわをつかみたい ずっとポケットにいれてもっておく
ぜったいおとさないように なくさないように わすれないように
こわいをして、へいわがわかった



○○○○さんは昨年6月、家族で宜野湾市の佐喜真美術館を訪れ、そこで見た「沖縄戦の図」(1984年：丸木位里・俊さんの共同制作)に衝撃を覚え、そのとき感じた気持ちを詩で表現したとのこと。「怖い気持ちと悲しい気持ちを書いた。だから反対の平和のことを考えて、大切にしたいと思った」と話しています。